

B プラスチックをいかす

“プラスチックの可能性を生み出すデザイン”

持続可能な社会のため、環境負荷の高いプラスチックを削減する動きが起きています。一方で、モビリティの軽量化（※車体部品を金属からプラスチックに置き換える）による排ガス削減など、活用次第では、これからの社会に対して貢献もできる素材であると考えます。今までにない着眼点から素材の新しい可能性を生み出すデザインを考えてください。

テーマのポイント

- ・どのように社会問題の解決に貢献できるかを重視します。
- ・「環境負荷が高い」というイメージを払拭してください。
- ・プラスチックの素材特性を活かし、これからの社会に貢献が期待できる明快なアイデアを期待します。

テーマ企業：株式会社タカギセイコー

タカギセイコーは2031年に創業100周年を迎えます。漆を塗った木製食器の製造・販売からビジネスをスタートし、食器材料を木材からプラスチックに置き換えしたことが当社プラスチック事業の出発点となっています。その後、日本で初めて紡績部品（コレクター）のプラスチック化に成功し日用品から工業用製品のメーカーへ変革しました。その後は、バイクのカウル、プリンターのカバー、携帯電話（ガラケー）の筐体など時代時代にマッチした製品を世に送り出し成長してきました。現在は、自動車部品の製造・販売を中心にビジネス展開しており、最近では環境に配慮した次世代自動車（電気自動車やハイブリッドカー）向けの製品の研究開発を加速しカーボンニュートラルへの対応を図っています。

